

■ 施工前・ご使用前に、この説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工・ご使用ください。この説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。

お買い上げ前にご確認ください

パイプを取り付ける水栓のメーカー

[取付可能水栓メーカー]

KVK・TOTO
LIXIL・MYM
KAKUDAI
SAN-EI・TBC
YUKO・他

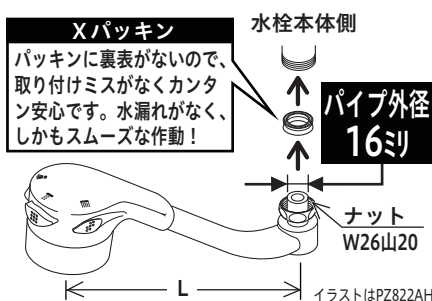
[注意]TOTOの差し込み式には合いません

パイプの外径

パイプ外径には16mmタイプと19mmタイプがあります。このパイプは16mm用です。(19mmタイプは合いません)



取り付け手順



<取り付け手順>

- 古いパイプを外します。パッキンも抜き取ります。
- 新しいパイプのXパッキンを本体に入れ、パイプを取り付けます。
- ナットを締め、取り付け完了です。
- 通水して、各接続部に水漏れがないことを確認してください。

品番	L寸法
(P)Z822(W)	247mm
(P)Z822(W)AH	200mm
(P)Z822(W)AHR17	170mm

安全上のご注意

- ここに示した **△注意** は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

△ この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。

! この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

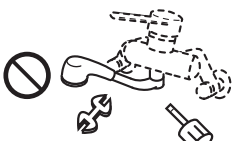
△ 注意

器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。



器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。



器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

凍結が予想される際は、水栓本体の水抜き操作とともにシャワーパイプの水抜き操作を行ってください。(寒冷地仕様の場合)



凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。(寒冷地仕様の場合)



水抜き栓をいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯気が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

使用方法

吐水切換

(P)Z822(W)

吐水切換ボタンの右を押すとストレート吐水、左を押すと泡沫シャワーになります。

吐水切換ボタン

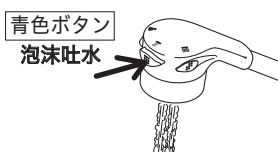


(P)Z822(W)AH

吐水切換ボタンの黄色ボタンを押すとストレートソフトシャワー、青色ボタンを押すと泡沫吐水、緑色ボタンを押すとフラッシュシャワーになります。



特に野菜洗いや径の小さい食器洗いに適しています。



水はねが少なく泡を含んだやさしい吐水です。



特に大なべや径の大きい食器洗いに適しています。

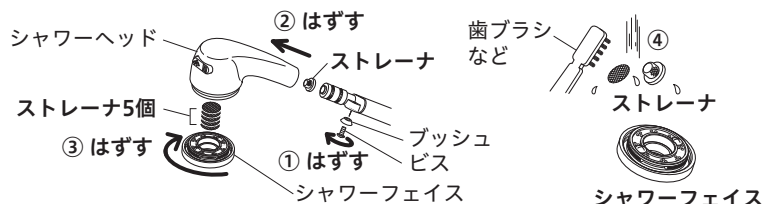
[注意] 吐水切換ボタンは2つ同時に押さないでください。故障の原因となります。

日常の保守・点検 1

シャワーフェイスとストレーナの清掃方法 [(P)Z822(W)]

シャワーヘッドのシャワーフェイスとストレーナがつまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、定期的に清掃してください。

- ビスをはずします。
- シャワーヘッドを引き抜き、ストレーナ [1個] を取りはずします。
- シャワーフェイスをはずして、ストレーナ [5個] を取り出します。
- シャワーフェイスとストレーナをブラシで水洗いします。



清掃後の組み立て

図の順に組み立ててください。



[注意] シャワーフェイスを締め込む際、締め込みすぎにご注意ください。はずれにくくなるおそれがあります。

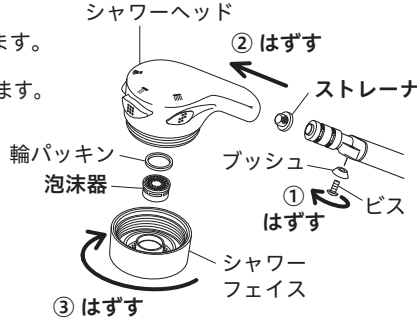
裏面へ

日常の保守・点検 2

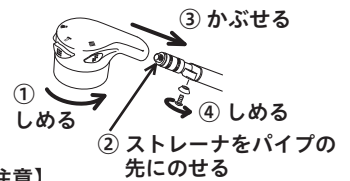
シャワーフェイス、泡沫器、ストレーナの清掃方法 [(P)Z822(W)AH]

シャワーヘッドのシャワーフェイス、ストレーナ、泡沫器がつまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、定期的に清掃してください。

- ① ビスをはずします。
- ② シャワーヘッドを引き抜き、ストレーナを取りはずします。
- ③ シャワーフェイスをはずして、泡沫器を取り出します。
- ④ シャワーフェイス、ストレーナ、泡沫器をブラシで水洗いします。



清掃後の組み立て
図の順に組み立ててください。



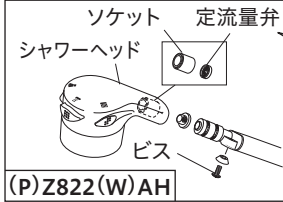
【注意】
シャワーフェイスを締め込む際、締め込みすぎにご注意ください。はずれにくくなるおそれがあります。

日常の保守・点検 3

故障かなと思ったら…

吐水量が少ない場合は下表に従って調節してください。

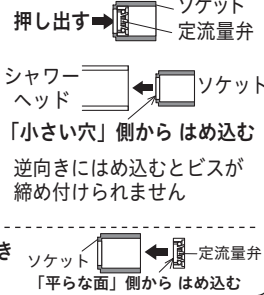
処 置	泡沫器又はストレーナを清掃する (日常の保守・点検 1・2 参照)
	[(P)Z822(W)AHのみ] 定流量弁を取りはずす(右図 参照)



定流量弁を取りはずす手順

- ① シャワーヘッドからソケットを取り出します。取り出せない場合はシャワーヘッドを布等の上で軽くたたいてください。
【注意】シャワーヘッドを強くぶつけないでください。破損する恐れがあります。
- ② ソケットの中に定流量弁が組み込まれていますので、押し出してください。
- ③ ソケットをシャワーヘッドにはめ込みます。ソケットの向きに注意してください。ドライバー等、先の細いもので奥まで押し込んでください。

※ 再度定流量弁を取り付ける場合は、定流量弁の向きに注意して奥までしっかりはめ込んでください。



水抜き栓について(寒冷地仕様の場合)

[(P)Z822W・(P)Z822WAH仕様]
凍結が予想される場合は水栓本体の水抜き方法にそって、パイプ下部の水抜き栓からも水抜きを行ってください。



日常のお手入れ

お手入れのしかた

汚れは柔らかい布やスポンジで水洗いしてから
かわいた布でふき取ります。

使ってはいけないもの



製品には樹脂部品が多く使用されているため、シンナー・アセトン・ベンジン・カビトリ剤・酸性・アルカリ性系・塩素系洗剤等は使わないでください。また、金たわし・みがき粉等は外観にキズが入るおそれがありますので、使わないでください。メラミンフォームやクレンザーを使用する場合は、文字やマークなど印刷部分はこすらないようにしてください。

株式会社KVK

インターネットホームページ <http://www.kvk.co.jp/>